

# 学校運営協議会委員の皆様を対象としたアンケートの集計結果について

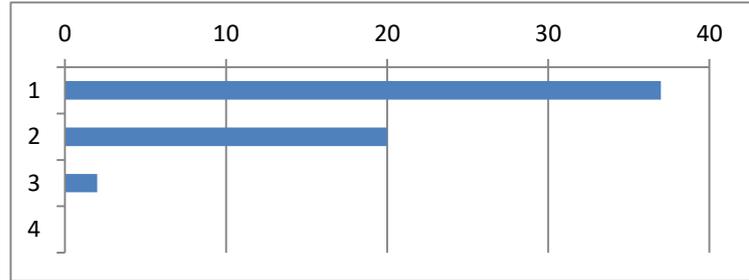
令和6年11月

## 1. 学校の教育活動についてお答えください。

(1) 学校は子どもを中心とした教育活動を行っていると思いますか。

\* 単位は人数

- ① 思う(37)
- ② どちらかといえば思う(20)
- ③ どちらかといえば思わない(2)
- ④ 思わない(0)

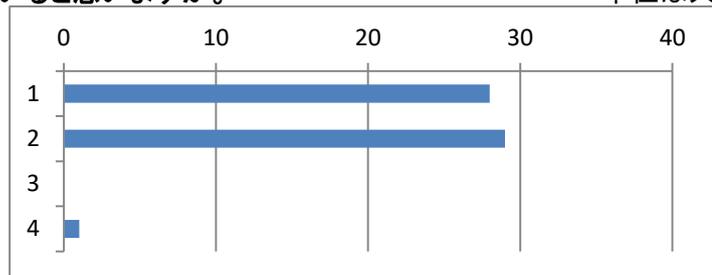


◆ 記述された方の内容について  
・ やっていると思うのですが、具体的に知らないことが多いので②にしました。

(2) 学校は地域住民と連携した教育活動を行っていると思いますか。

\* 単位は人数

- ① 思う(28)
- ② どちらかといえば思う(29)
- ③ どちらかといえば思わない(0)
- ④ 思わない(1)

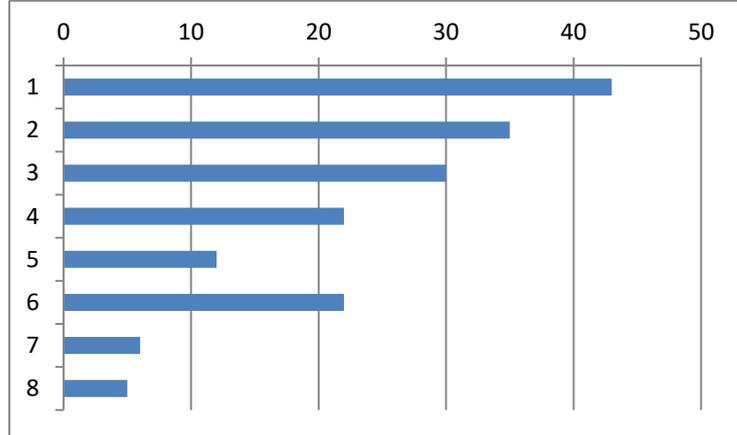


(3) 学校教育について、特に望むことは何ですか。

\* 単位は人数

\* 3つまで回答

- ① 学力向上の取組(43)
- ② 体力づくりの取組(35)
- ③ 人権教育の充実(30)
- ④ 防災教育の推進(22)
- ⑤ ICT機器を活用した教育の推進(12)
- ⑥ 地域と連携した教育の推進(22)
- ⑦ 保護者への情報提供(6)
- ⑧ その他(5)



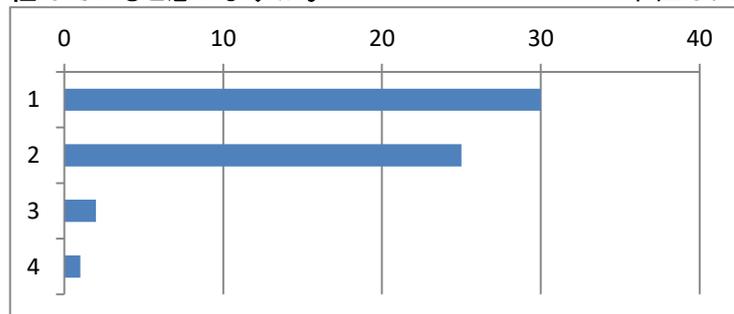
◆ その他の内容について  
・ 人格づくりの取組      ・ 性教育の充実(2人)      ・ 基本的な人格の形成      ・ 多様性を受けいられる心を育む

## 2. いじめの問題についてお答えください。

(1) 学校はいじめの問題について、前向きに取り組んでいると思いますか。

\* 単位は人数

- ① 思う(30)
- ② どちらかといえば思う(25)
- ③ どちらかといえば思わない(2)
- ④ 思わない(1)



(2)いじめの問題について、学校や教育委員会がどのような取組を行っていけばよいか、ご意見をお聞かせください。

### ①学校

- ・早期発見
- ・情報共有
- ・早期発見早期対応
- ・先生と生徒の対話の場
- ・子どもたちと地域社会との交流
- ・相方の児童に向き合い寄り添う。
- ・子どもたちとコミュニケーションをとる。
- ・子どもの話を聞くとか子どもと会話する。
- ・わかりません。専門家の皆様に任せたいと思います。
- ・日々の子どもの生活に気配り、目配りをする事。
- ・いじめの声が届いたら早く確認し、手を打ってあげてほしい。
- ・日ごろの小さなサインを見逃さないこと。職員全体の情報共有。
- ・いじめがわかった時、直ちに学校全体のものとして取り扱ってください。
- ・多様性の時代、多彩なことが多いとは思いますが、がんばってください。
- ・忙しいとは思いますが、放課後等学校外での行動に注意を払ってほしい。
- ・教師が生徒の変化(いじめに対する態度や反応)に早期に対応する能力を養う。
- ・少数の生徒いじめは難しいかもしれませんが、先生方の目配り お願い致します。
- ・いじめを受けた子どもは生涯心の傷を抱えたまま生きていく。その重さを理解してほしい。
- ・いじめの問題についての事例研究やカウンセリングなど、実践的な校内研修を実施する。
- ・いじめがないからよいわけではないので、なくすことに頑張りすぎないことが大切だと思います。
- ・子どもがいじめを受けている可能性が少しでもある場合は、早急に対応する必要があると思います。
- ・子どもたちとのふれあいの中で小さな変化を見逃すことなく対話を持ち早い対応をお願いしたいです。
- ・日頃の生徒の実態や生徒指導での課題を確認し、教職員と保護者の認識の共有を徹底していただきたい。
- ・普段から生徒の話に耳を傾け、寄り添い、生徒の変化に早く気づき、全職員で情報を共有できる体制づくりを
- ・問題を抱える児童の把握      ・早期発見、早期対応、関係機関との連携      ・カウンセリングや悩み相談ができる場を提供。
- ・「学校・保護者・地域・児童」が「いじめの早期発見・解決」に向けた方策を具体的に協議して確立しみんなで共有して実行する。
- ・職員が一丸となって初動のタイミングを逃さないこと。そして、管理職がその責任をしっかりと取るつもりで職員をバックアップすること。
- ・生徒が先生に悩みを打ち明けやすい環境を作っていくために、普段から小さなモヤモヤや気になっていることを話せる場があるとよいと思います。
- ・学校と保護者だけで話し合いなどで済ませずスクールカウンセラーや暴力などあった場合は警察の介入など然るべき対応を柔軟に行うようにしてほしい。

- ・子どもの学校での生活で、子どもに変わった様子がないか気をつけてあげてほしい。小さなうちにいじめにあっていないか、いじめていないか見つけてあげてほしいと思います。
- ・今は携帯を介してのトラブルもあるようなので、子どものすべてを把握することも難しいと思います。学校でも休み時間等先生が教室の様子を見守ることもひとつの方法かな…と思います。
- ・自体験から…両親が共働きの場合、子どもとの会話接点が少なくなり、子どもがいじめを受けていることに気づくのが遅い。特に学校にいる間、クラブ活動まで先生の見守りを続けてほしい。
- ・私自身が小学生の頃は、クラス担任が1時間、自習の時間を設け、その間に一人一人を別室に呼んで、「何か悩みはないか？」と尋ねてくれました。そのようなことを実施したらいいと思います。
- ・学校カウンセラーの運用をもっと子どもの実態に即応した実のあるものにする必要があるのではないですか。実態を詳しく知りませんが、担任教師とカウンセラーそして必要に応じて親との話し合いをしっかりと持つべき、あるいは親同士の話し合いなども…。
- ・もちろん学校はいつも注意を払っていただいていることと思っています。いじめは表面化することがなかなか難しいと思います。子どもたちの何気ない「ことば」や行動にしっかり目を向けていただきたいと思います。日々の変化がわかる日記とか、すれ違いざまの口調とかに注意をお願いします。

## ②教育委員会

- ・情報公開。
- ・各学校に目を配る。
- ・児童・教師に寄り添う。
- ・迅速な対応、悪化防止。
- ・現場との細かい情報共有。
- ・学校と連携して解決していく。
- ・各学校との連携を密にしてほしい。
- ・現場(学校)との連携を密に取ること。
- ・わかりません。専門家の皆様に任せたいと思います。
- ・忙しいとは思いますが、各学校に訪問してほしいです。
- ・学校との連絡をよく取るようにし、学校への援助を行う。
- ・学校からの相談を真摯に受け止め、取り組んでくれること。
- ・教師の人間としてのレベルを上げるような取組を実施する。
- ・先生方の負担が少しでも軽くなるような方法を考えてほしい。
- ・学校独自の取組が行えるようにバックアップをお願いします。
- ・学校側から問題が上がってきた時、大小に関わらず対処してください。
- ・確認と早く手を打つこと、うそをつかない、子どもたちの将来を考えてください。
- ・事実関係の究明   ・関係機関との連携   ・学校への取組の支援と取組状況の把握。
- ・学校でのいじめがあった場合、早急に対応してほしい。早く!早く!心の傷が大きくなる前に。
- ・学校との連携を密にしっかりサポートしてほしい。生徒・保護者等が相談しやすい環境づくりを。
- ・学校からの報告を待つのではなく、学校に出向いていろいろな話し合いをしてほしいと思います。
- ・教師の方たちにいじめについてどのようにすればよいか勉強の機会を与えてあげてほしいと思います。

- ・学校が行った指導をバックアップすること。それにより、職員は安心して事案に踏み込むことができると思う。
- ・学校からの報告が遅いと思う。もう少し丁寧に対応するように教育委員会も早めにいじめがあった時は介入してほしい。
- ・県内外での「いじめ」に関する事例(よい事例・悪い事例等)を教育委員会・学校関係者と共有し、解決策について検討及び実行する。
- ・若手の先生の感覚は、前々の先生方からの影響でしょうか!? 自分が生きるよりも子どもたちが社会で生き残ることを考えてください。
- ・学校からのいじめ情報があれば迅速に対応していただき、実情に即した学校ときめ細やかな情報把握をして解決の方策を講じていただきたい。
- ・学校との情報交換を密にするとか…。また、学校の様子、子どもと直接関わる機会を作り、教育委員会の人たちも学校に任せっきりにしない…とか
- ・いじめの加害者や被害者それぞれに沿った講演やカウンセリング体制の強化、他県で取り組んでいるいじめ対策の調査など行っていただきたいです。
- ・いじめをしないといじめをすることがわかりません。失敗しないと失敗はわかりません。成功することが全てではありません。正しいことは正しくないかもしれません。
- ・学校カウンセラーの実践報告会のようなものを持って、専門家を入れ掘り下げた討議が必要ではないでしょうか。多分もうやられていると思いますが、専門家に詳しく分析していただくことも必要。
- ・いじめがある学校が判明した時、先生方といっしょに解決にあたっていただきたいと思います。(もちろんそうしていただいていると思いますが)あるからためではなく、あったところを切り口にして先生方を助けてもらいたいです。

### ③ ①学校と②教育委員会の両方に

- ・学校と教育委員会がよく話し合いをして力を合わせて…。『自分たちの世界を自分たちで作る』営みに取り組ませる。学力検査で全国平均、県平均、市平均などで差が＋％というものなどは重要だとは思わない。生徒一人一人がどれだけ自信や誇りや納得度がどうであるかが肝心だと思います。人間度というものこそ高めたい。